

鳥取市の家計調査の結果（家計収支編）概要について

総務省統計局より「家計調査報告[家計収支編]（平成29年平均速報結果の概況）」が公表され、鳥取市分がまとまりましたのでお知らせします。

I 調査の概要

1 調査の目的

家計調査は、全国の世帯を対象とし毎月の家計収支を調査することにより、国民生活の実態を明らかにして、経済施策や社会施策立案のための基礎資料を得るために行う調査で、全国の約9,000世帯に調査をお願いしています。

この調査では、学生の単身世帯等を除いた世帯を対象として行われており、統計的な方法によって一部の地域を選定し、全体を推計する方法（標本調査）を利用しています。具体的には全国から168市町村を選び、選ばれた市町村内をさらに細かく分割し、調査地区を選び、その調査地区から無作為に調査世帯を選びます。この3段階の抽出は世帯が均等に選ばれるよう工夫されており、全国の縮図が出来上がるようになっています。

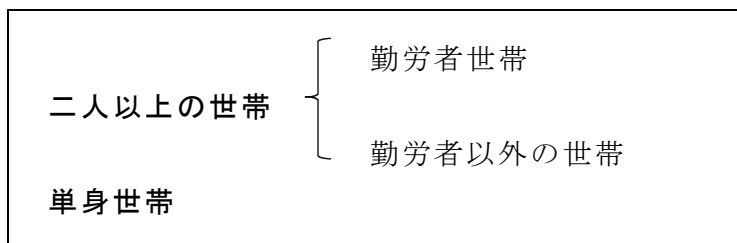
2 鳥取県の家計調査の実施状況

県内では、2市の117世帯の皆さまに毎月の家計調査に御協力いただいています。

対象市	二人以上の世帯	単身世帯
鳥取市（県庁所在市）	96世帯	8世帯
境港市	12世帯	1世帯
計	108世帯	9世帯

※境港市は、都市階級（人口5万以上の市、大都市、中都市、小都市A、小都市B・町村）のうちの小都市B・町村に選定され集計されています。

3 調査世帯区分



「勤労者世帯」：世帯主が会社、官公庁、学校、工場、商店などに勤めている世帯をいう。ただし、世帯主が会社や団体の役員である世帯は「勤労者以外の世帯」とする。

「勤労者以外の世帯」：勤労者世帯以外の全ての世帯をいう。

II 結果の概要

1 二人以上の世帯の家計消費

平成29年の二人以上の世帯の消費支出は、1世帯当たり1か月平均257,533円でした。

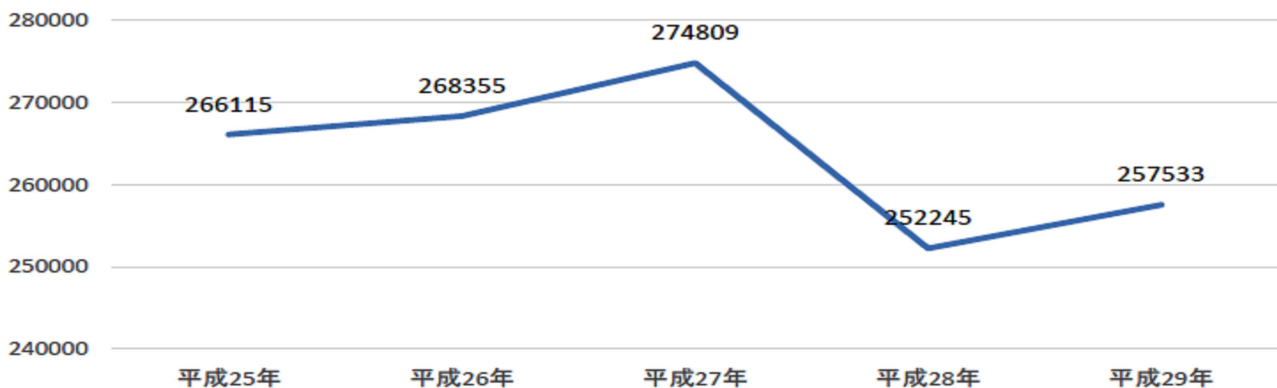
消費支出を10大費目別にみると、前年に比べ「家具・家事用品」、「被服及び履物」、「教育」、「教養娯楽」、「その他の消費支出」の5品目が減少となった一方、「食料」、「住居」、「光熱・水道」、「保健医療」、「交通・通信」の5品目が増加した。
(表1、図1)

表1 費目別消費支出（二人以上の世帯）

項目	鳥取市				増減	全国 平成29年
	平成29年	順位	平成28年	順位		
世帯人員(人)	3.08		3.37		0.18	2.98
65歳以上人員(人)	0.82		0.72		-0.08	0.86
有業人員(人)	1.41		1.67		0.09	1.32
世帯主の年齢(歳)	58.7		56.2		0.8	59.6
消費支出(円)	257,533	41	252,245	45	5,288	283,027
食料	68,355	36	68,331	34	24	72,866
住居	18,994	16	12,124	45	6,870	16,555
光熱・水道	20,109	39	19,833	38	276	21,535
家具・家事用品	9,492	37	9,553	33	-61	10,560
被服及び履物	8,627	43	9,633	39	-1,006	10,806
保健医療	10,385	44	10,022	45	363	12,873
交通・通信	46,107	12	35,548	33	10,559	39,691
教育	5,433	46	8,142	39	-2,709	11,062
教養娯楽	22,228	43	24,172	39	-1,944	27,958
その他の消費支出	47,802	44	54,887	40	-7,085	59,120
エンゲル係数(%)	26.5	12	27.1	5	-0.6	25.7

注1 その他の消費支出とは、理美容関係、たばこ、交際費など。
注2 エンゲル係数とは、消費支出に占める食料費の割合。

図1 鳥取市の消費支出の推移（年平均）



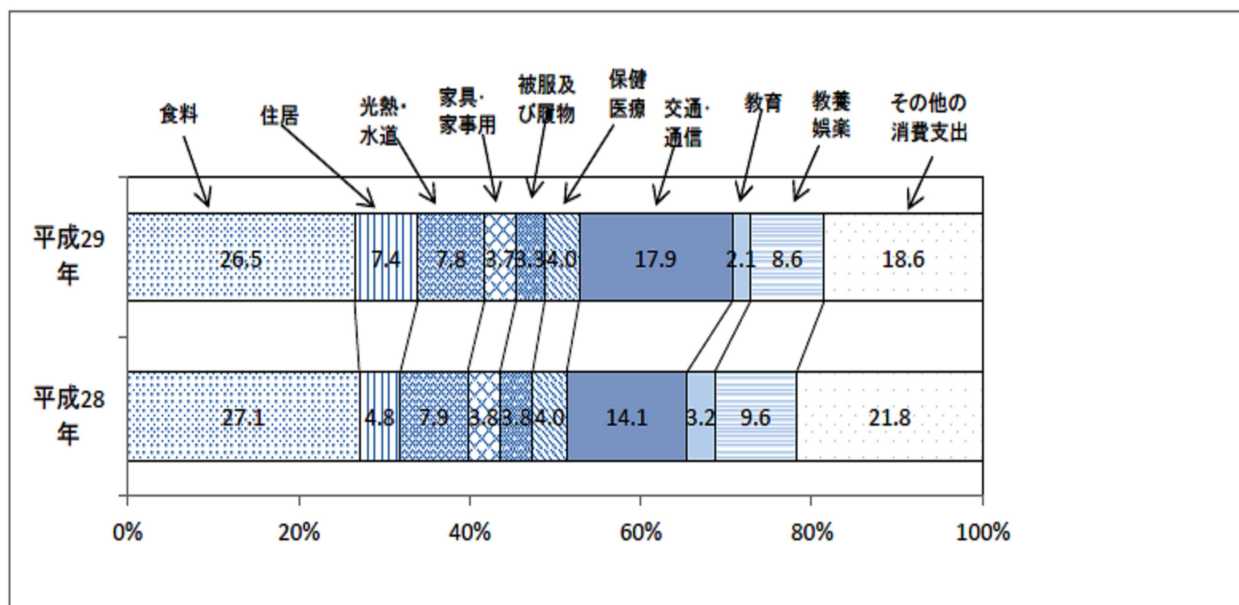
1-2 二人以上の世帯の支出割合

費目別消費支出割合は、「交通・通信」が3.8ポイント増加し、「その他の消費支出」が3.2ポイント減少。

鳥取市の費目別消費支出の割合をみると、「交通・通信」3.8ポイント、「住居」2.6ポイント増加。

一方、「その他の消費支出」3.2ポイント、「教育」1.1ポイント、「食料」0.6ポイント減少した。（図2）

図2 鳥取市の費目別消費支出の割合（二人以上の世帯）



1-3 二人以上の世帯のうち勤労者世帯の家計収支

勤労者世帯の実収入は478,282円で、可処分所得は391,850円でした。

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の実収入は、1世帯当たり1か月平均478,282円となっており実収入の内訳をみると「勤め先収入」は全国値に比べ低いものの、「配偶者の収入」（84,864円で全国第15位）、「他の世帯員収入」（17,617円で全国第7位）ともに全国平均を大きく上回っている。

その他、実収入から税金などの非消費支出を引いた可処分所得は391,850円であった。
(表2、図3)

表2 家計収支と内訳（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

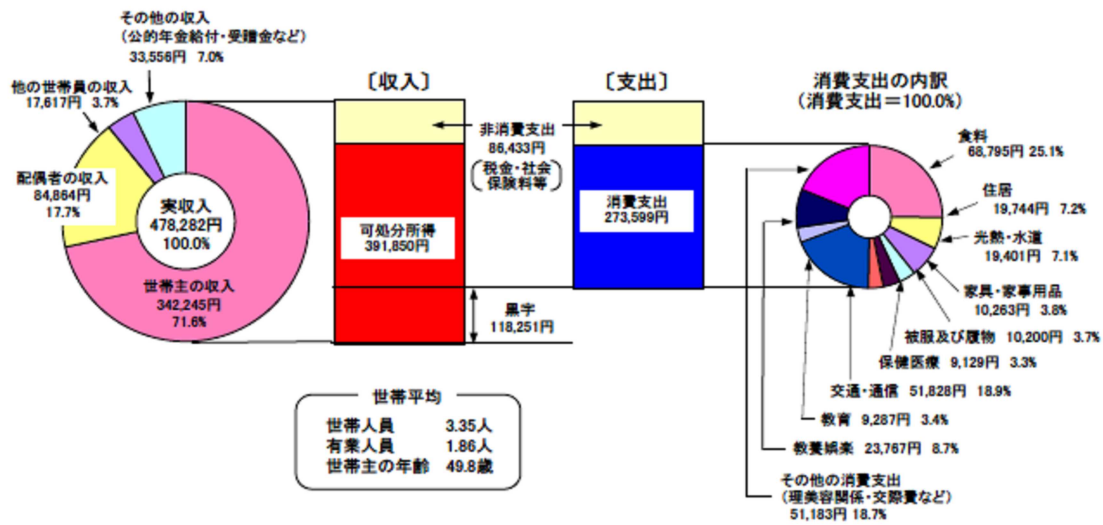
項目	鳥取市					全 国
	平成29年	順位	平成28年	順位	増減	平成29年
世帯人員(人)	3.35		3.57		-0.2	3.35
65歳以上人員(人)	0.26		0.33		-0.1	0.26
有業人員(人)	1.86		1.92		-0.1	1.74
世帯主の年齢(歳)	49.8		48.7		1.1	49.1
実収入(円)	478,282	37	479,447	36	-1,165	533,820
勤め先収入	444,726	37	434,016	41	10,710	493,834
世帯主収入	342,245	43	317,582	46	24,663	419,435
世帯主の配偶者の収入	84,864	15	96,954	8	-12,090	65,332
他の世帯員収入	17,617	7	19,480	3	-1,863	9,067
その他の収入	33,556	35	45,431	18	-11,875	39,986
消費支出(円)	273,599	43	270,229	44	3,370	313,057
非消費支出(円)	86,433	35	82,383	38	4,050	99,405
可処分所得(円)	391,850	38	397,063	35	-5,213	434,415
黒字(円)	118,251	29	126,834	21	-8,583	121,358
エンゲル係数(%)	25.1	9	25.9	4	-0.8	23.8

注1 非消費支出とは、所得税、住民税、社会保険料など。

注2 可処分所得とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入。

注3 黒字とは、可処分所得から消費支出を差し引いた額。

図3 鳥取市の平成29年平均1世帯当たり1か月間の収入と支出
(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



※ ここでいう1世帯当たり1か月間の収入とは、ボーナス等も含めた年間の収入を12か月で割った1か月当たりの平均値です。

表3 鳥取市の1世帯当たり1か月間の収入と支出（二人以上の世帯）

1世帯当たり1か月間の収入と支出
二人以上の世帯

平成29年(2017年)平均

二人以上の世帯の支出			うち勤労者世帯の収入と支出		
用途分類	鳥取市	全国	用途分類	鳥取市	全国
集計世帯数	91	7,708	集計世帯数	48	3,823
世帯人員(人)	3.08	2.98	世帯人員(人)	3.35	3.35
有業人員(人)	1.41	1.32	有業人員(人)	1.86	1.74
世帯主の年齢(歳)	58.7	59.6	世帯主の年齢(歳)	49.8	49.1
実収入	—	—	実収入	478,282	533,820
勤め先収入	—	—	勤め先収入	444,726	493,834
世帯主収入	—	—	世帯主収入	342,245	419,435
世帯主の配偶者の収入	—	—	世帯主の配偶者の収入	84,864	65,332
他の世帯員収入	—	—	他の世帯員収入	17,617	9,067
その他の収入	—	—	その他の収入	33,556	39,986
実収入以外の受取 (預貯金引出、借入金など)	—	—	実収入以外の受取 (預貯金引出、借入金など)	340,228	409,364
繰入金	—	—	繰入金	48,446	65,674
実支出	—	—	実支出	360,032	412,462
消費支出	257,533	283,027	消費支出	273,599	313,057
食料	68,355	72,866	食料	68,795	74,584
住居	18,994	16,555	住居	19,744	18,532
光熱・水道	20,109	21,535	光熱・水道	19,401	21,164
家具・家事用品	9,492	10,560	家具・家事用品	10,263	10,980
被服及び履物	8,627	10,806	被服及び履物	10,200	13,184
保健医療	10,385	12,873	保健医療	9,129	11,506
交通・通信	46,107	39,691	交通・通信	51,828	49,610
教育	5,433	11,062	教育	9,287	19,080
教養娯楽	22,228	27,958	教養娯楽	23,767	30,527
その他の消費支出(理美容関係、交際費など)	47,802	59,120	その他の消費支出(理美容関係、交際費など)	51,183	63,890
非消費支出 (税金、社会保険料など)	—	—	非消費支出 (税金、社会保険料など)	86,433	99,405
実支出以外の支払 (預貯金、借金返済など)	—	—	実支出以外の支払 (預貯金、借金返済など)	463,542	540,066
繰越金	—	—	繰越金	43,382	56,331
可処分所得	—	—	可処分所得	391,850	434,415
黒字	—	—	黒字	118,251	121,358
エンゲル係数(%)	26.5	25.7	エンゲル係数(%)	25.1	23.8

注 1 「二人以上の世帯」には、自営業者、無業者等を含むため収入にかかる項目の公表はない。

出典:「家計調査結果」

2 繰入金とは、前月から持ち越した手持ち金額で、繰越金とは、当月末における手持ち現金。

総務省統計局

3 可処分所得とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入。

4 黒字とは、可処分所得から消費支出を差し引いた額。

5 エンゲル係数とは、消費支出に占める食料費の割合。

2 消費支出に占める衣食住の割合の推移

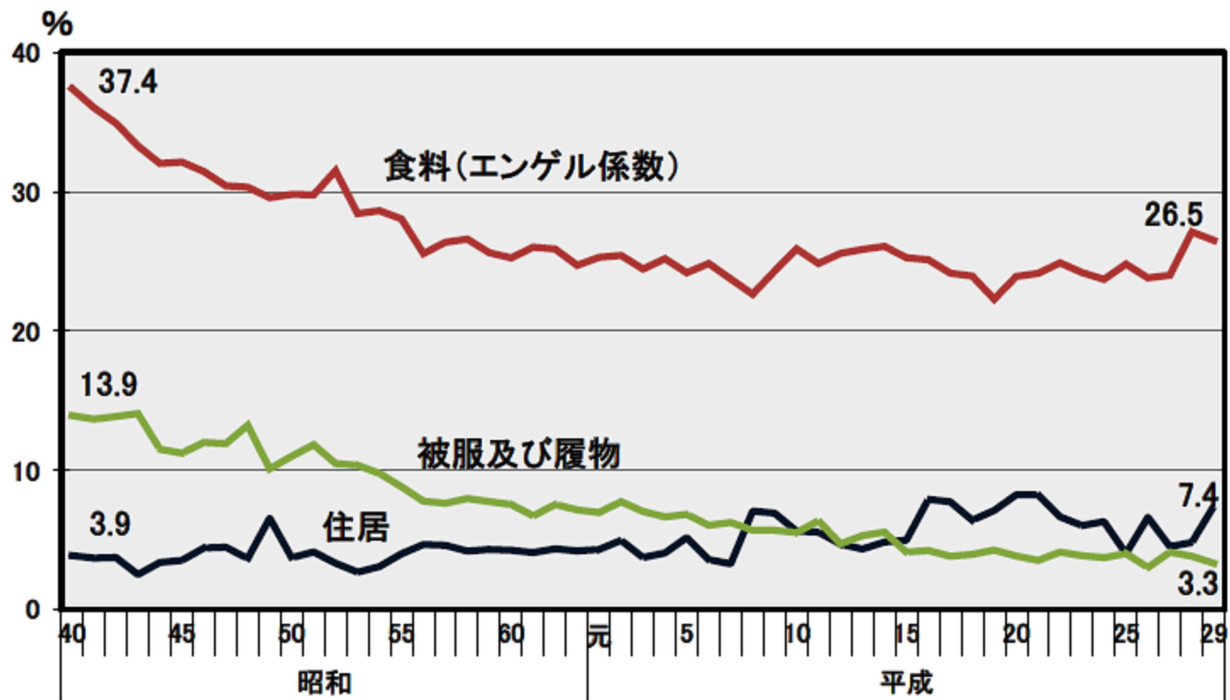
エンゲル係数は、平成28年27.1%に対し、平成29年は26.5%となり、0.6ポイント減少。

消費支出の衣・食・住の割合をみると、エンゲル係数は昭和40年には37.4%と食費に対する割合が多かったが、生活水準の向上と共に低下が続き、昭和49年に初めて30%を下回り、その後も低下が続きに対し平成29年は26.5%となった。

また、昭和40年には被服及び履物への支出が住居への支出を上回っていたが、平成15年以降は逆転した。平成29年は被服及び履物への支出が3.3%、住居への支出が7.4%となっている。（※住居とは、家賃地代、設備修繕・維持を含む）

(図4)

図4 鳥取市の消費支出に占める衣食住の割合の推移
(二人以上の世帯)



3 鳥取市の直近3年間の平均（平成27年～29年平均）から見た二人以上の世帯における全国消費ランキング

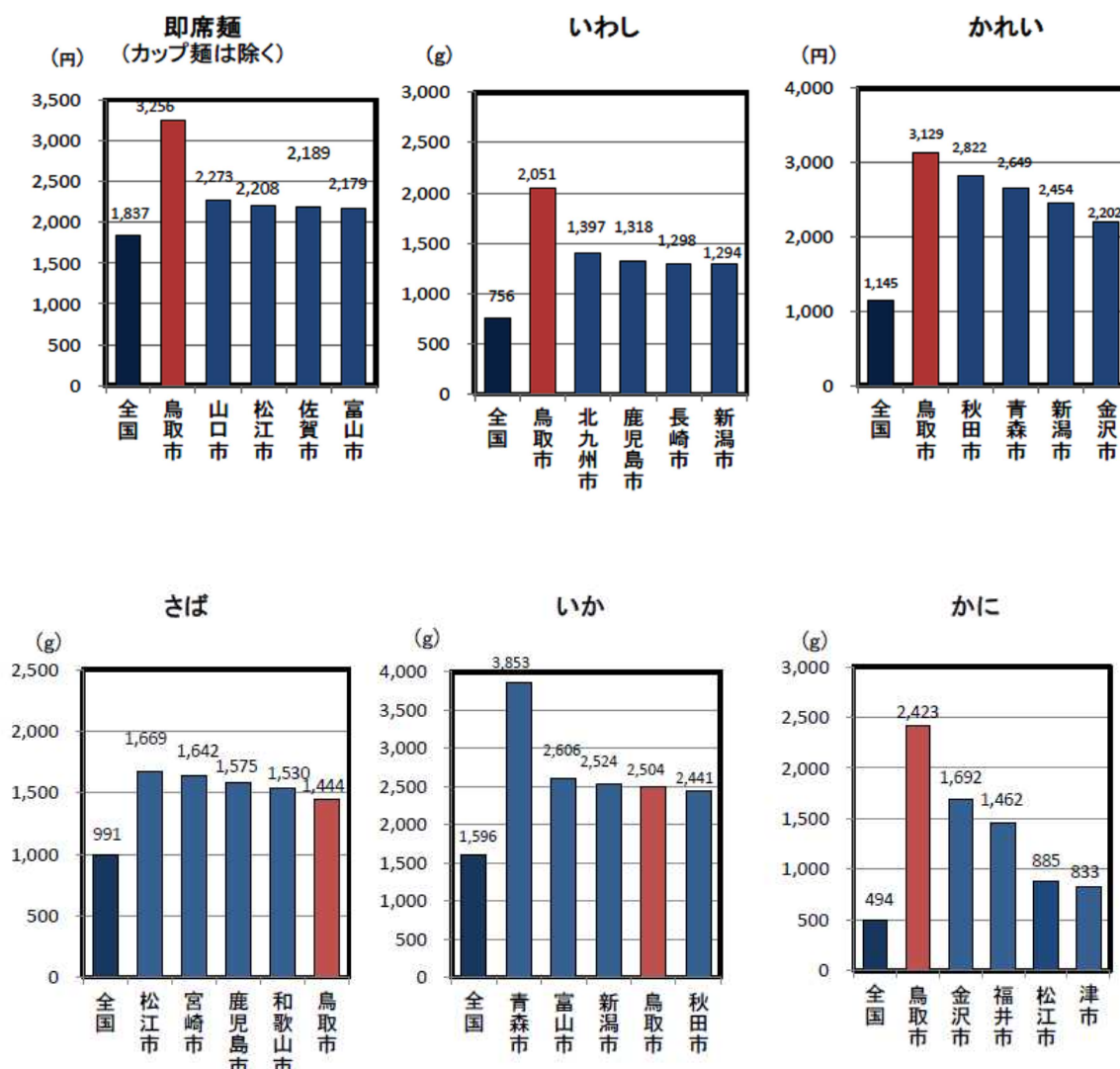
鳥取市の全国消費ランキング1位は、即席麺、いわし、かれい、かに、ちくわ、卵、はくさい漬け、梨、マヨネーズ、カレールウ、スナック菓子

家計調査では、調査世帯が購入した商品をすべて集計することにより、消費者の嗜好、どのような食品がよく購入されているのかが分かります。

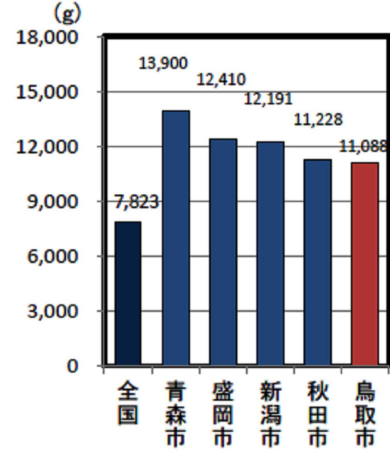
ここでは、食料品などについて、鳥取市の1世帯当たり年間購入量・購入金額（平成27～29年平均）が全国の都道府県庁所在市及び指定都市で上位5位以内の品目を取り上げてみました。

今回は、「スナック菓子」が1位となった他、上位5位以内には「他の塩干魚介」、「発泡酒・ビール風アルコール飲料」がランクインしました。（図5）

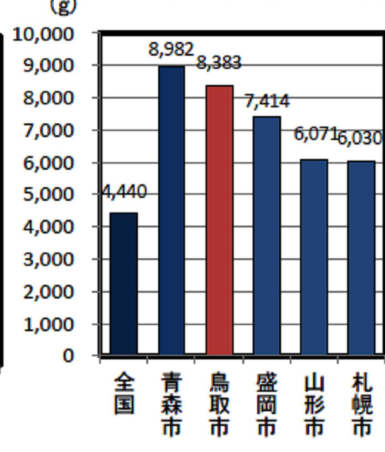
図5 鳥取市の全国消費ランキング上位5位（平成27年～29年平均）二人以上の世帯



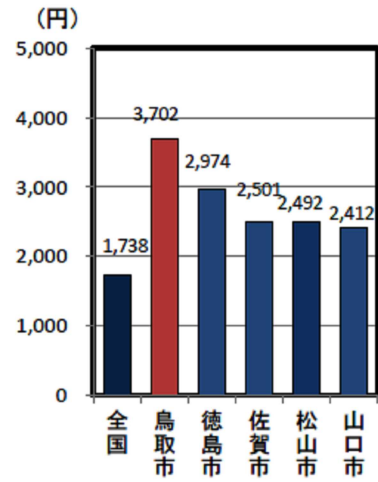
塩干魚介
(塩サケ・めんたいこ・しらす干し・干しアジ)



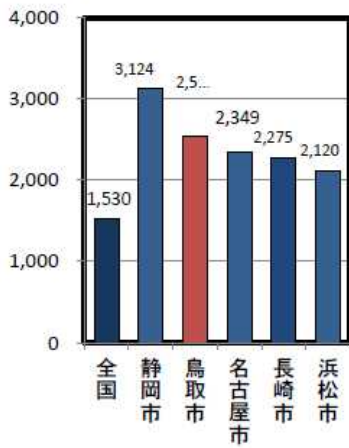
他の塩干魚介
(干しカレイ・みりん干し・ししゃも)



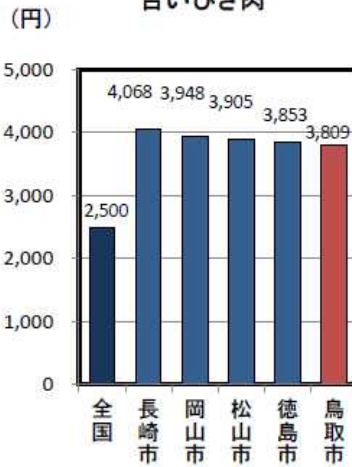
ちくわ



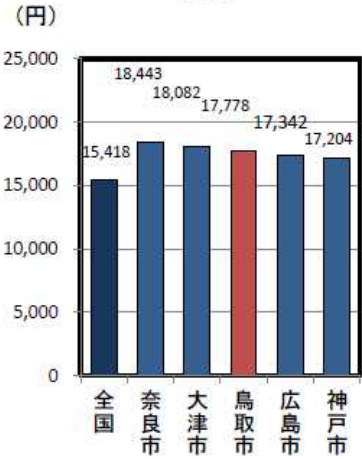
他の魚肉練製品
(とうふちくわ・魚肉ソーセージ等)



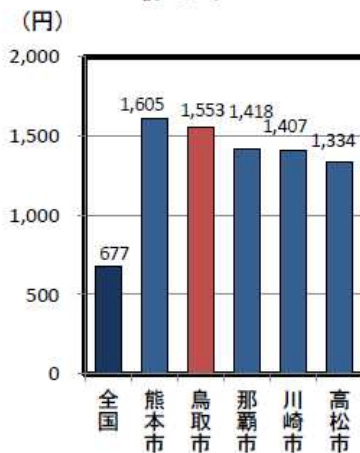
合いびき肉



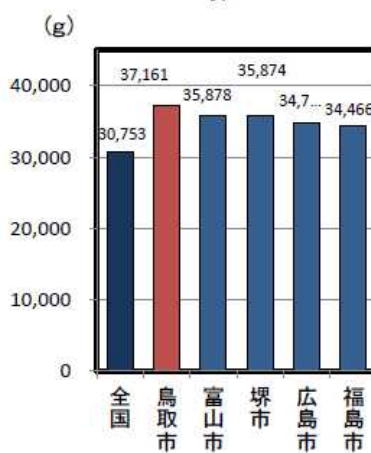
牛乳



粉ミルク



卵



もやし

